



入り込んだ屋根から光が入ってくる



受付は曲線。滑らかな曲線も、ゆったりとした診療室



壁の隙間から見える外の景色



閉じたような空間の中に見える外の景色



観葉植物の存在感



流る、奥行きのある、木製のベンチ



木製のベンチ



受付から診療室、トイレ、エントランスを順に導く



見る方向によって、見え方が異なる外観



自然素材の存在感



1F 平面図 S-1/150

Date	所在地	用途	階数	敷地面積
	群馬県前橋市西片貝町	診療所（心療内科）	2階建	453.60㎡
			最高高さ 6700mm	建築面積 106.25㎡
			軒高 6800mm	延床面積 121.66㎡

## 建築作品部門

### 周辺環境に調和する建築

### 前橋

# 桃の瀬クリニック

住宅地の中に建つ診療所である。質の高い診療を目的として、少人数で運営できるコンパクトな建築が求められた。花が咲いたように、開いた空間構成の構造でつくられた風車のような複雑な空間は、活動動線をシンプルにさせ、事務局を中心に開く形であり、1人のスタッフが来院からトイレ、待合いまで全てを一括管理できるとも合理的空間となった。

また、赤城山からの北風を避けながら、内外が入り組み、多角になった外壁により、建築全体のボリュームを周辺住宅スケールと同調するようなサイズ感とし、閉じつつ程よい距離感をつくり出している。

心療内科である特性上、患者が他人から視線を感じない落ち着いた環境とした。

壁間の隙間から周辺景色と共に、光など外部情報が入り込む。閉じられつつも、屋根と壁のスキマから入ってくる光が、時間と共に内部を多様に変化させる。



伊藤 昭博 HIRO 建築工房

- 1972年 群馬県前橋市生まれ
- 2000年 HIRO 建築工房設立
- 2006年 おおた都市景観賞 大賞（東金井町の緑の家）
- 2012年 ぐんまの家 最優秀賞（IDEAL WALL）
- 2016年 第4回家づくり大賞 家づくりの精選考部門 建築物のかたちと構造部門賞（笑科町の家）

経験をデザインしたい。

将来を見据えて計画することは、とても大切です。しかし、日々の何気ない出来事の積み重ねこそが、素敵な将来へとつながります。たくさんの経験ができる住まい。家族の思い出がたくさん生まれる、そんな建築を考えています。